

I 展示活動

1 企画展

興福寺中金堂再建・法相柱柱絵完成記念

興福寺の寺宝と畠中光享展

- 会期 平成29年4月8日(土)～5月14日(日)
- 主催等 主催：茨城県天心記念五浦美術館，法相宗大本山興福寺，日本経済新聞社，BSジャパン
協力：DMG森精機，南都銀行
後援：茨城新聞社，朝日新聞水戸総局，毎日新聞水戸支局，読売新聞水戸支局，産経新聞社水戸支局，東京新聞水戸支局，NHK水戸放送局，株式会社茨城放送，北茨城市
- ポスター B2
- チラシ A4
- 図録 縦24.6×横25cm 135頁
- 開催日数 33日間
- 入場者数 9,323人
- 観覧料 一般620(510)円／高大生410(310)円
小中生210(150)円
※()内は20名以上の団体料金

●出品点数 全39件(総数66点)

●内容解説

法相宗大本山興福寺の中金堂の内陣には、法相宗の祖師を描いた「法相柱」という柱が存在していたことが数々の史料に記されている。興福寺ならびに日本経済新聞社は、仏教に造詣が深い日本画家の畠中光享に祖師画の制作を依頼、平成の法相柱再興に取り組んできた。本展覧会では奉納に先立ち、祖師画を初公開するとともに、興福寺の寺宝、畠中光享の代表作・新作も展観した。

●担当 塩田 稔雄(学芸員)

●関連事業

多川文彦氏，畠中光享氏によるギャラリートーク

日時 4月8日(土) 11:00～

畠中光享氏サイン会

日時 4月8日(土) 12:00～

ワークショップ「散華を描く」

日時 4月9日(日) 10:00～13:00

講師 畠中光享

森谷英俊師(興福寺副貫首)講演会「興福寺の歩み」

日時 4月9日(日) 14:00～15:00

展覧会担当によるギャラリートーク

日時 4月22日(土) 13:30～(40分程度)

興福寺僧侶によるお話「興福寺の歴史」

日時 4月30日(日)～5月7日(日)

5月12日(金)～5月14日(日)

11:00～11:30, 14:00～14:30

講師 ザイレ暁映、大森俊貫

ワークショップ「おかしな和菓子をつくろう」

日時 5月5日(金・祝) 10:00～12:00, 13:00～15:00

来て・見て・発見!アートツアーfor Kids

日時 4月22日(土) 10:00～(40分程度)

●関連記事

・興福寺展 あすから北茨城・五浦美術館で

4月7日【毎日新聞】

・興福寺の柱絵披露 きょうから 県五浦美術館

4月8日【朝日新聞】

・興福寺の柱絵 間近に 五浦美術館企画展で公開

4月13日【読売新聞】

・興福寺の寺宝と畠中光享展 県五浦美術館で初公開

4月30日【茨城新聞】

・「興福寺の寺宝と畠中光享」展 明日14日まで、

天心記念五浦美術館で 5月13日【常陽リビング】

●関連放送

・「興福寺の寺宝と畠中光享展」4月12日【KFB福島放送】



図録



ポスター B2



チラシ A4

● 出品作品一覧

興福寺寺宝

12件26点

No.	作品名	制作年	西暦	材質・技法	形状	大きさ (cm)	所蔵	
1	菩薩立像	平安時代	12世紀	木造漆箔 木造彩色	2軀	像高36.5 像高36.5	興福寺	
2	地藏菩薩立像	鎌倉時代	13世紀	木造彩色	1軀	像高55.0	興福寺	
3	聖徳太子立像	江戸時代	16~17世紀	木造彩色	1軀	像高68.5	興福寺	
4	解脱上人画像	江戸時代	17~18世紀	紙本着色	1幅	86.7×40.9	興福寺	
5	尋尊僧正画像	室町時代	15世紀	絹本着色	1幅	108.0×52.5	興福寺	
6	法相曼荼羅図	室町時代	15世紀	絹本着色	1幅	126.5×79.0	興福寺	
7	絵馬 (東金堂奉納)	優闍王唐獅子図	大永元年	1521	板絵彩色	7枚	16.5×39.6	興福寺
		優闍王唐獅子図	大永3年	1523	板絵彩色		12.5×33.2	
		優闍王唐獅子図	文禄2年	1593	板絵彩色		21.7×34.4	
		優闍王唐獅子図	慶長6年	1601	板絵彩色		16.7×33.5	
		優闍王唐獅子図	寛永11年	1634	板絵彩色		32.5×44.8	
		繫馬図	寛永12年	1635	板絵彩色		35.9×46.6	
		菓壺	寛永20年	1643	板絵彩色		4.6×17.6	
8	大織冠画像	江戸時代	17世紀	絹本着色	1面	112.5×45.0	興福寺	
9	春日鹿曼荼羅図	江戸時代	16~17世紀	絹本着色	1幅	82.7×37.4	興福寺	
10	春日曼荼羅図	鎌倉時代	13~14世紀	絹本着色	1幅	121.5×40.5	興福寺	
11	軒瓦	奈良時代		土製	8点	軒丸瓦直径18.2 軒平瓦横幅28.0	興福寺	
		平安時代		土製		軒丸瓦直径17.0 軒平瓦横幅24.3		
		鎌倉時代		土製		軒丸瓦直径17.8 軒平瓦横幅29.0		
		室町時代		土製		軒丸瓦直径17.0 軒平瓦横幅30.0		
12	中金堂再建模型	平成16年	2004	木造	1点	高119.0・幅127.0 奥行148.0	興福寺	

畠中光享作品

27件40点

1	興福寺中金堂 法相柱柱絵	無著菩薩	平成28年	2016	紙本・岩絵具	パネル 14枚	195.0×70.0	個人
		世親菩薩					195.0×72.0	
		護法論師					195.0×75.0	
		戒賢論師					195.0×61.0	
		玄奘三藏					186.0×66.0	
		慈恩大師					135.0×86.0	
		淄州大師					135.0×86.0	
		濮陽大師					135.0×86.0	
		玄昉僧正					186.0×66.0	
		善珠僧正					186.0×66.0	
		別當行賀					186.0×66.0	
		真興上綱					135.0×86.0	
		權別當藏俊					135.0×86.0	
		解脱上人					135.0×86.0	

No.	作品名	制作年	西暦	材質・技法	形状	大きさ (cm)	所蔵
2	維摩空を説く 諸々の苦難に堪えて恐れることなく辱	平成28年	2016	綿本・岩絵具	二曲一雙屏風	各170.0×172.0	個人
3	の角のようにただ独り歩め (スッタニ パータ第1章3節42句より)	平成28年	2016	綿本・岩絵具	パネル	170.0×91.0	個人
4	降魔	平成28年	2016	麻本・岩絵具	パネル	169.0×160.0	真宗大谷派 浄徳寺
5	待つ人 (スジャータ)	平成28年	2016	綿本・岩絵具	二曲一雙屏風	170.0×160.0	個人
6	私に行く	平成28年	2016	綿本・岩絵具	二曲一雙屏風	170.0×160.0	個人
7	利益を欲して学ぶのではない (スッタニ パータ第4章10節854句より)	平成28年	2016	綿本・岩絵具	二曲一雙屏風	170.0×160.0	個人
8	マーヤ	平成28年	2016	綿本・岩絵具 金箔・金砂子	パネル	170.0×90.0	個人
9	成道の樹	平成28年	2016	紙本・岩絵具・墨	襖8面	183.0×680.0	大中寺
10	一灯	平成27年	2015	麻本・岩絵具	四曲一雙屏風	各167.0×340.0	個人
11	立ちつつも、歩みつつも、坐しつつも、 臥しつつも、眠らないでいる限りは、こ の慈しみの心づかみをしっかりとたもて (スッタニパータ第1章8節 慈しみより)	平成27年	2015	麻本・岩絵具・墨	二曲一雙屏風が3	各172.0×182.0	個人
12	濁水に汚されない蓮のように 清らかな平静と安らいとを得て辱の角	平成26年	2014	麻本・岩絵具	二曲一雙屏風が2	各172.0×182.0	個人 真宗大谷派
13	のようにただ独り歩め (スッタニパータ 第1章3節67句より)	平成26年	2014	麻本・岩絵具・墨	二曲一雙屏風	各172.0×182.0	林高寺
14	竹林精舎の説法 (晨朝)	平成26年	2014	麻本・岩絵具・墨	二曲一雙屏風	各172.0×182.0	個人
15	林住禪定	平成24年	2012	絹本金箔地・墨・金泥	六曲一雙屏風	各170.0×350.0	個人
16	雲乗散華	平成21年	2009	紙本・岩絵具・金箔・ 金砂子	二曲一雙屏風	各172.0×188.0	個人
17	帰去来 (往相・還相)	平成20年	2008	紙本金箔地・墨 一部岩絵具	六曲一雙屏風	各170.0×375.0	個人
18	雲乗供華	平成18年	2006	絹本・岩絵具 金箔・金砂子	パネル	171.0×546.0	個人
19	四門	平成14年	2002	紙本・岩絵具	四曲一雙屏風	161.0×320.0	個人
20	禪河震流	平成13年	2001	絹本金箔地・墨 一部岩絵具	六曲一雙屏風	各172.5×378.0	個人
21	寂静 阿彌陀經說法趾	平成12年	2000	紙本・岩絵具・墨	襖4面	210.0×372.0	真宗大谷派 浄満寺
22	散華	平成9年	1997	絹本・岩絵具 金箔・金砂子	四曲一雙屏風	166.5×342.0	個人
23	出山	平成8年	1996	綿本・岩絵具	パネル	180.0×280.0	個人
24	塩の行進	平成19年	2007	綿本・岩絵具	パネル	165.0×1092.0	井筒興兵衛
25	寒い雨	平成15年	2003	綿本・岩絵具	パネル	170.0×160.0	個人
26	とぶ時	平成15年	2003	綿本・岩絵具	パネル	170.0×160.0	個人
27	仏陀とアングリマーラ —私はとどまって いるのに汝は歩いていこう—	平成17年	2005	絹本金箔地・墨 一部岩絵具	六曲一雙屏風	172.0×380.0	茨城県近代 美術館

現代日本画の精鋭展

- 会期 平成29年5月19日(金)～7月9日(日)
- 主催 茨城県天心記念五浦美術館
- ポスター B2
- チラシ A4
- 開催日数 45日
- 入場者数 9,803人
- 観覧料 一般310(260)円／高大生210(150)円
小中生150(100)円
※()内は20名以上の団体料金
- 出品点数 日本画19点
- 内容解説

現代の日本画家は伝統的な表現を取り入れるだけでなく、従来の枠にとらわれない斬新な手法に挑むなど、新たな絵画表現を求めて飽くなき探求を続けている。本展では現代を代表する画家による平成以降の日本画の優品を紹介した。

写実に基づきながら優美な花鳥画を描いている那波多目功一や西田俊英。身近な自然を心象風景として昇華させている浅野均や松本祐子。国外に取材したエキゾチックな人物像が印象的な梅原幸雄や高橋天山。さらに、従来の日本画とは違った素材を取り入れた抽象的作品を制作する岡村桂三郎や間島秀徳まで、展示する画家と表現の内容は多岐にわたる。

所属するグループや表現方法も違う日本画家たちの共演となる本展では、画家それぞれのエネルギーが込められた大画面の作品が並び、多様化する表現の魅力を示すものとなった。

- 担当 永宮勤士(副主任学芸員)

●関連事業

展覧会担当によるギャラリートーク

日時 5月28日(日)、7月1日(土)

各日共 13:30～(40分程度)

開館20周年記念ワークショップ「海を描こう」

日時 6月3日(土)・4日(日)

講師 間島秀徳(日本画家)

来て・見て・発見!アートツアーfor Kids

日時 6月17日(土) 10:00～(40分程度)

対象 小中学生

開館20周年記念コンサート《第1弾》

「マリンバアンサンブルコンサート」

日時 7月9日(日)

出演 Esprit Liblé ensemble

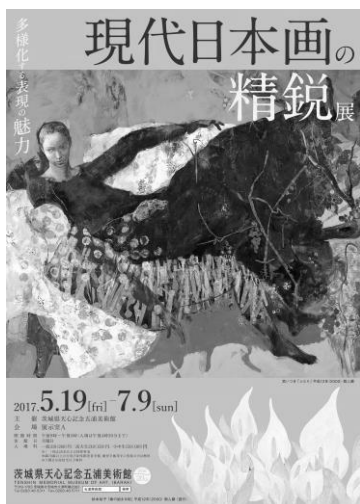
第1部11:00～、第2部14:00～

●関連記事

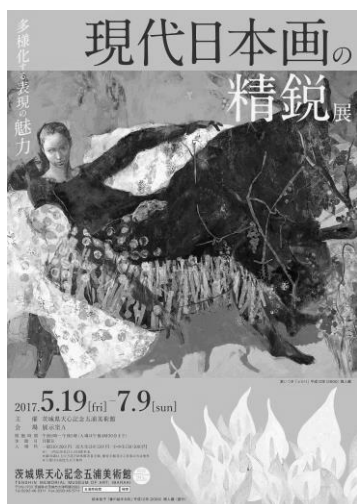
- ・現代日本画の精鋭展 茨城県天心記念五浦美術館
5月19日【両毛新聞】
- ・現代日本画の魅力楽しんで 北茨城で「精鋭展」
5月19日【読売新聞】
- ・現代日本画の精鋭展 県五浦美術館
6月1日【茨城新聞】
- ・「現代日本画の精鋭展」 県天心記念五浦美術館
5月25日【よみうりタウンニュース】

●関連放送

- ・「NHK 県域ニュース」 6月4日【NHK水戸放送局】
- ・「NHK Eテレ 日曜美術館アートシーン」
6月18日【NHK Eテレ】



ポスター B2



チラシ A4

● 出品作品一覧

No.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・技法・形状	大きさ (cm)	所蔵
1	那波多目 功一	1933-	惜春	平成 19 年	紙本・彩色・額装	217.0×172.0	個人
2	福井 爽人	1937-	明	平成 13 年	紙本・彩色・額装	220.0×186.0	個人
3	福井 爽人	1937-	星のオアシス	平成 16 年	紙本・彩色・額装	165.0×285.0	個人
4	小嶋 悠司	1944- 2016	穢土	平成 5 年	麻布・岩絵具, 膠, デトランプ・額装	100.0×200.0	個人
5	梅原 幸雄	1950-	線香花火	平成 5 年	紙本・彩色・額装	215.0×169.8	個人
6	梅原 幸雄	1950-	花筏	平成 13 年	紙本・彩色・額装	182.0×546.0	個人
7	西田 俊英	1953-	華孔雀	平成 15 年	紙本・彩色・額装	182.0×364.0	個人
8	高橋 天山	1953-	ザンスカール	平成 5 年	紙本・彩色・額装	2116.0×169.8	個人
9	浅野 均	1955-	早行寒気	平成元年	紙本・彩色・額装	170.0×268.0	個人
10	浅野 均	1955-	高原風光	平成 11 年	紙本・彩色・額装	185.0×286.0	個人
11	宮 いつき	1956-	ふたり	平成 12 年	紙本・彩色・額装	181.8×227.3	個人
12	宮 いつき	1956-	晩夏	平成 15 年	紙本・彩色・額装	181.8×227.3	個人
13	松本 祐子	1957-	春の始まる時	平成 12 年	紙本・彩色・額装	169.8×215.0	個人
14	岡村 桂三郎	1958-	白澤 04-1	平成 16 年	板・岩絵具・屏風仕立て	225.0×1080.0×9.0	個人
15	松生 歩	1959-	天地を結ぶもの	平成 17 年	紙本・彩色・パネル装	180.0×360.0	個人
16	間島 秀徳	1960-	Kinesis No. 211	平成 16 年	麻紙・アクリル, 水, 墨, 顔料, 樹脂膠・パネル装	160.0×460.0	個人
17	小田野 尚之	1960-	来客	平成 13 年	紙本・彩色・額装	170.0×215.0	個人
18	清水 由朗	1961-	幕電	平成 14 年	紙本・彩色・額装	214.0×169.0	個人
19	伴戸 玲伊子	1974-	いびつなかたちをした土地	平成 12 年	紙本・彩色・額装	181.8×227.3	個人

三百六十度の世界 松本哲男展

- 会期** 平成29年7月15日(土)～8月27日(日)
- 主催等** 主催：茨城県天心記念五浦美術館
助成：一般財団法人地域創造
後援：茨城新聞社，毎日新聞水戸支局，読売新聞水戸支局，朝日新聞水戸総局，産経新聞社水戸支局，東京新聞水戸支局，NHK水戸放送局，株式会社茨城放送，北茨城市

- ポスター** B2
- チラシ** A4
- 開催日数** 39日
- 図録** 縦23×横30cm 132頁
- 入場者数** 11,934人
- 観覧料** 一般620(510)円／高大生410(310)円
小中生210(150)円
※()内は20名以上の団体料金

- 出品点数** 全 44点(日本画38点，素描6点)

●**内容解説**

院展を中心に活躍した松本哲男(1943-2012)は、画家自身が語る「三百六十度の世界」、すなわち、自らを取り囲む、前後上下左右全てを描き続けた日本画家である。松本は、描きたい対象に向き合い、納得いくまで写生を続けるという制作スタイルを貫いた。写生とは言っても、目に見える風景を客観的に凝視して描くだけではなく、「地べた」に腰を下ろしてその場の空気や風、におい、気温など全身で感じ取った自然の存在をも描こうとした。この制作スタイルは、初期的那須の風景にはじまり、素朴で雄大なアジアの風景，《マチュピチュ》などの世界遺産や世界三大瀑布というように描く対象が大きくなっていっても徹底された。こうして、横12メートルにも及ぶ大作《ヴィクトリア・フォールズ》や横10メートルの《イグアス》など、これまでの日本画の世界にない臨場感あふれる画面を創り上げていった。晩年には、主題を古代文明に広げ、エジプト、南米などの遺跡に取材した

作品を発表した。

松本哲男が2012年に没してから、その画業を振り返る初の機会となる本展覧会では、院展出品作を中心に創作エネルギーに溢れる日本画38点、及び関連素描を紹介した。

- 担当** 富永京子(首席学芸主事)

●**関連事業**

来て・見て・発見！アートツアーfor Kids

日時 7月15日(土) 10:00～

対象 小中学生

展覧会担当によるギャラリートーク

日時 7月23日(日)，8月19日(土) 13:30～

開館20周年記念ワークショップ「美術館に龍をとぼそう」

日時 8月5日(土) 10:00～15:00

8月6日(日) 10:00～15:30

場所 茨城県県北生涯学習センター

オープンワークショップ「墨もよう de 缶バッジ」

日時 8月11日(金)・12日(土) 12:30～15:30

●**関連記事**

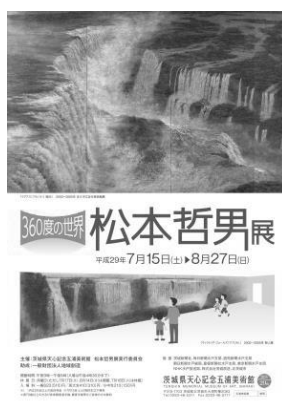
- ・巨大な滝，360度表現 日本画家 松本哲男氏の回顧展 7月13日【茨城新聞】
- ・日本画・松本哲男さん回顧展 北茨城で没後初 7月27日【読売新聞】
- ・三百六十度の世界 松本哲男展 8月1日【新美術新聞】
- ・故 松本哲男さん回顧展 27日まで 北茨城市の天心記念五浦美術館 8月12日【下野新聞】

●**関連放送**

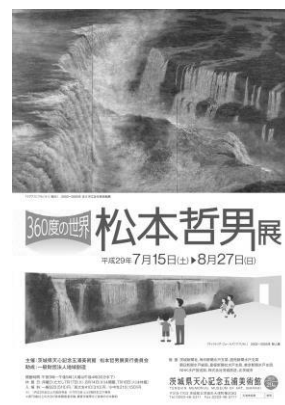
- ・「NHK 県域ニュース」 7月29日【NHK水戸放送局】
- ・「はらぺこキッズ」 7月29日【FMひたち】



図録 A4



ポスター B2



チラシ A4

● 出品作品一覧

No.	作品名	制作年	材質・技法・形状	大きさ(cm)	所蔵
第1章 初期作品					
1	岩舟山	1968	紙本・彩色・額装	140.0×199.0	
2	冬山	1969	紙本・彩色・額装	80.0×100.0	
3	冬山	1969	紙本・彩色・額装	173.0×224.0	宇都宮美術館
4	那須野原	1970	紙本・彩色・額装	80.0×100.0	
5	叢林	1972	紙本・彩色・額装	170.0×225.0	日光市
6	山	1974	紙本・彩色・額装	175.0×225.0	栃木県立美術館
7	巖	1976	紙本・彩色・額装	225.0×180.0	佐野市立吉澤記念美術館
第2章 海外風景との出会い、ふるさとへの回帰					
8	桂林	1982	紙本・彩色・額装	144.0×71.0	さくら市ミュージアム —荒井寛方記念館—
9	大同石佛	1983	紙本・彩色・額装	220.0×174.0	宇都宮美術館
10	黄山雷動	1986	紙本・彩色・額装	180.4×453.0	佐久市立近代美術館
11	タシ・ルンポ寺 チベット シガツェ	1987	紙本・彩色・四曲一隻屏風	166.0×340.0	株式会社西邑画廊
12	淨韻・日光	1988	紙本・彩色・額装	120.0×120.0	宇都宮美術館
13	アジャンタ	1990	紙本・彩色・額装	175.0×115.0	
14	トレド	1990	紙本・彩色・額装	170.0×420.0	天童市美術館
15	ラダック・天	1991	紙本・彩色・額装	216.0×522.0	
16	幽谷 スコットランド・グレンコー	1991	紙本・彩色・六曲一隻屏風	172.0×364.0	株式会社ヤマタネ
17	レ・ボー	1992	紙本・彩色・四曲一隻屏風	165.0×360.0	
18	アイリッシュ・トゥリー	1993	紙本・彩色・額装	110.0×110.0	
19	富嶽・静	1994	紙本・彩色・八曲一隻屏風	177.0×720.0	
20	那智	1998	紙本・彩色・額装	120.0×120.0	
21	三春滝桜 一色即是空	1998～2000	紙本・彩色・額装	220.0×600.0	宇都宮美術館
22	マチュピチュ	2001	紙本・彩色・額装	220.0×500.0	
23	田沢湖の桜	2009	紙本・彩色・額装	220.0×300.0	
第3章 大自然への取り組み グランド・キャニオンから世界三大瀑布へ					
24	地から宙 グランド・キャニオン	1993	紙本・彩色・額装	220.0×800.0	宇都宮美術館
25	グランド・キャニオン	1994	紙本・彩色・額装	100.0×380.0	
26	月明ナイアガラ	1996	紙本・彩色・額装	220.0×600.0	
27	睨 イグアスの瀧	1997	紙本・彩色・額装	220.0×600.0	宇都宮美術館
28	ナイアガラ	2000	紙本・彩色・額装	220.0×600.0	
29	ヴィクトリア・フォールズ(アフリカ)	2002～2005	紙本・彩色・額装	220.0×1200.0	
30	イグアス(ブラジル)	2003～2005	紙本・彩色・パネル	220.0×1200.0	佐久市立近代美術館

No.	作品名	制作年	材質・技法・形状	大きさ (cm)	所蔵
第4章 古代文明への憧れ					
31	アルハンブラ	2000	紙本・彩色・額装	110.0×110.0	
32	樹 イースター島	2002	紙本・彩色・額装	162.1×130.1	
33	天空	2004	紙本・彩色・額装	120.0×120.0	
34	文明・エジプト	2005	紙本・彩色・額装	220.0×600.0	
35	エアーズロック	2007	紙本・彩色・額装	110.0×110.0	東京オペラシティ アートギャラリー
36	アンコール・ワット	2009	紙本・彩色・額装	120.0×120.0	
37	シナイ山	2010	紙本・彩色・額装	110.0×110.0	公益財団法人 吉野石膏美術振興財団
38	我譜 (マヤ 神聖文字階段)	2011	紙本・彩色・額装	162.0×162.0	
素描					
39	ポタラ宮		紙・鉛筆・色鉛筆	53.7×94.5	
40	カイラサナータ	1988 頃	紙・鉛筆・色鉛筆	54.0×94.0	
41	エローラ	1988 頃	紙・鉛筆	54.0×96.0	
42	デカン高原	1988 頃	紙・鉛筆・色鉛筆	54.0×95.5	
43	ラダック	1990	紙・鉛筆・額装	95.0×370.0	
44	アイリッシュ・トゥリー	1992	紙・鉛筆	54.0×96.0	

ひとのかたち

—人物表現を味わう—

- 会期 平成29年9月1日（金）～10月15日（日）
- 主催 茨城県天心記念五浦美術館
- ポスター B2
- チラシ A4
- 開催日数 39日
- 入場者数 11,736人
- 観覧料 一般310(260)円／高大生210(150)円
小中生150(100)円
※()内は20名以上の団体料金
- 出品点数 日本画、油彩画、版画、彫刻 全35点
- 内容解説

人物をいかに表現するかは、芸術にとって重要なテーマのひとつである。自分自身や家族、友人をモデルにした作品をはじめ、物語や歴史上の人物を想像しながら表したものの、あるいは人間の存在を根源的に問うものまで、その表現のあり方は様々である。本展では、肖像、視線、身体という3つのキーワードによって人物表現の魅力に迫り、様々な「ひとのかたち」を紹介します。五浦の作家をはじめとする日本画のほか、油彩画、版画、彫刻の優品、全35点の「人物表現を味わう」ことができる展覧会となった。

- 担当 塩田 積雄(学芸員)

●関連事業

展覧会担当によるギャラリートーク

日時 9月2日(土)、9月30日(土)

各日共13:30～(40分程度)

第29回トワイライトコンサート

「ファゴットとピアノの調べ」

日時 9月2日(土) 17:00～

演奏者 皆神陽太(ファゴット)・澤辺明音(ピアノ)

来て・見て・発見!アートツアーfor Kids

日時 9月16日(土) 10:00～(40分程度)

対象 小中学生

●関連記事

・ひとのかたち 茨城県天心記念五浦美術館

8月30日【両毛新聞】

・「企画展『ひとのかたち～人物表現を味わう』」

9月13日【茨城朝日】

・「ひとのかたち～人物表現を味わう」県天心記念五浦美術館

9月19日【茨城新聞】

・「ひとのかたち～人物表現を味わう～」

10月号【定年時代】

●関連放送

・「NHK いばっチャオ！」

9月21日【NHK 水戸放送局】



ポスター B2



チラシ A4

● 出品作品一覧

No.	作家	作品名	制作年	材質・技法・形状	大きさ (cm)	所蔵
第1章 肖像～誰かの像～						
1	二世 五姓田芳柳	一世芳柳明治天皇描くの図	不詳	紙本・彩色・軸装	136.7×67.4	*
2	鈴木芳子	私の像	1955	紙本・彩色・額装	155.5×115.0	いわき市立美術館
3	中村彝	多湖実敏氏像	1912	油彩・麻布・額装	46.0×33.8	*
4	朝井閑右衛門	アトリエにおける木内克	1963	油彩・麻布・額装	60.0×73.0	*
5	古賀春江	婦人	1915-20頃	水彩・紙・額装	58.0×47.5	*
6	森村泰昌	肖像 (ゴッホ)	1989	カラー写真プリント・透明メディウム・額装	44.0×37.0	個人
7	中原悌二郎	若きカフカス人	1919	ブロンズ	41.5×20.5×17.5	*
8	木内克	自刻像 (生活)	1968	テラコッタ	78.0×29.0×32.0	*
9	ウジェーヌ・カリエール	「習作」または「絵画」	1899	油彩・麻布・額装	103.5×162.1	*
10	オディロン・ルドン	II. 聖アントワヌ: 主よ! 助けたまえ! (『聖アントワヌの誘惑』第3集より)	1896	リトグラフ・紙・額装	21.8×13.2	個人
11	オディロン・ルドン	VII. 大智はわがものとなった! 私は仏陀になった! (『聖アントワヌの誘惑』第3集より)	1896	リトグラフ・紙・額装	32.0×22.0	個人
12	オディロン・ルドン	XV. ここにいますはお恵み深い女神様, 山にいますイダの女神だ (『聖アントワヌの誘惑』第3集より)	1896	リトグラフ・紙・額装	14.8×13.0	個人
13	オディロン・ルドン	XVI. 私はいつまでも偉大なイシス! まだ誰も私のヴェールをかかげたものはいない! 私の果実が太陽なのだ! (『聖アントワヌの誘惑』第3集より)	1896	リトグラフ・紙・額装	14.8×13.0	個人
14	オディロン・ルドン	XVII. アントワヌ: これらすべての目的は何だろう? 悪魔: 目的などないのだ! (『聖アントワヌの誘惑』第3章より)	1896	リトグラフ・紙・額装	31.4×25.5	個人
15	オディロン・ルドン	XXIX. ついに太陽が現れる…そして、まるい太陽のただなかに、イエス・キリストの顔が光りかがやく (『聖アントワヌの誘惑』第3章より)	1896	リトグラフ・紙・額装	27.5×20.0	個人
第2章 視線～その行方～						
16	下村観山	大原之露	1900	絹本・彩色・軸装	248.0×171.0	*
17	木村武山	熊野	1902	絹本・彩色・軸装	144.0×240.0	*
18	鐺木清方	夏の女客	1933	絹本・彩色・軸装	129.7×42.3	*
19	鐺木清方	花ざかり	1938	絹本・彩色・軸装	143.3×50.2	*
20	小林古径	壺	1950	絹本・彩色・額装	121.2×84.9	*
21	安田靉彦	源氏若紫	1933	絹本・彩色・軸装	130.6×50.7	*
22	國司華子	忘れ物ノ行方	2005	紙本・彩色・額装	225.0×180.0	*
23	井手康人	奏園	2006	紙本・彩色・額装	221.0×175.5	*
24	武部雅子	あずける	2015	紙本・彩色・額装	169.5×211.0	*
25	宮北千織	うつろふ	2004	紙本・彩色・額装	170.0×215.0	*

No.	作家	作品名	制作年	材質・技法・形状	大きさ(cm)	所蔵
第3章 身体～表現される身体～						
26	小杉未醒	楽人と踊子	1921 頃	紙本・金地・彩色・屏風 (二曲一双)	各 168.0×166.0	*
27	森田曠平	八丈のめならべ達	1959	紙本・彩色・屏風 (四曲一隻)	175.9×305.7	*
28	山口薫	裸婦	1930 頃	油彩・麻布・額装	68.0×94.0	*
29	榎戸庄衛	二重像	1948	油彩・麻布・額装	63.0×48.5	*
30	麻生三郎	歩く	1987	油彩・麻布・額装	162.1×227.3	*
31	中西利雄	彫刻と女	1939	水彩・麻布・額装	91.0×117.0	*
32	柳原義達	犬の唄	1961	ブロンズ	153.0×62.0×62.0	*
33	舟越保武	原の城	1971	ブロンズ	197.0×64.0×53.0	*
34	ジャン・デュビュッフェ	瞬間の定着	1978	ビニール塗料・ペーパー コーラージュ・麻布・ 額装	97.1×70.5	いわき市立 美術館
35	フランシス・ベーコン	鏡に映る記述する人	1977	リトグラフ・紙・額装	85.2×63.5	いわき市立 美術館

・所蔵先の*は茨城県近代美術館蔵を表す。

開館 20 周年記念

龍を描く一天地の気

- 会期 平成29年10月25日(水)～11月26日(日)
- 主催等 主催：茨城県天心記念五浦美術館
後援：茨城新聞社，毎日新聞水戸支局，読売新聞水戸支局，朝日新聞水戸総局，産経新聞水戸支局，東京新聞水戸支局，NHK水戸放送局，株式会社茨城放送，北茨城市

- ポスター B2
- チラシ A4, A3(2つ折)
- 図録 縦28×横22.5cm 120頁
- 開催日数 30日
- 入場者数 19,802人
- 観覧料 一般820(720)円／高大生620(510)円
小中生310(210)円
※()内は20名以上の団体料金

●出品点数 日本画 55点

●内容解説

伝説上の動物である龍は、インドや東南アジア、中央アジアではナーガとして、ヨーロッパではドラゴンとして、そして中国や朝鮮、日本では龍と呼ばれ語り継がれ、様々な姿形に表現されてきた。特に中国の影響を受けた日本では、蛇のような長い胴と大きな鱗、鷹のような鋭い爪を持ち、角や髭を生やした姿で描かれている。龍は信仰の対象でもあり、インドから伝わった龍王をはじめ、水神と融合するなど民間でも広く親しまれてきた。

日本美術においては古くから寺院を中心に、火災から建物を守るため天井画として、あるいは観音や羅漢とともに描かれてきた。さらには、水墨による雲龍図や龍虎図、絵巻に描かれた物語の中の龍というように幅広く描かれ、人々に親しまれてきた。明治以降、日本画家たちは西洋写実の導入をはじめ、構図や表現法を自ら創出することで近代的な表現を生み出したが、伝統的な龍という主題をどのようにとらえ、空想上の存在をいかに描くのが課題であったと言えよう。一方、東洋美術の特徴である写意や気韻生動を岡倉天心は大切にしながら、これらは聖獣である龍を描くに当たって欠くことのできない要素となっている。本展では、伝統的東洋画の主題、龍を近世から現代にいたる名作の数々によって紹介しながら、伝統的であるがゆえに、個性的な「龍図」に取り組む画家たちの姿にスポットを当てていった。

ところで、岡倉天心は晩年に制作した釣り船を「龍王丸」と名付けている。さらに、五浦からほど近い平瀧の漁師のため橋本永邦に「八大龍王図」を描かせて自らも賛をしており、龍神信仰に少なからず傾倒していたことがうかがえる。こうした資料類も併せて展示することで、天心の龍への想いも紹介した。

寺院の障壁画や天井画として龍図は多く描かれているが、

実際の堂内でなければ味わえないこれらの作品をこの展覧会ではできるだけ再現できるような試みも行った。岐阜・瑞龍寺の土屋禮一による床の間絵と襖絵8面を堂内の様子を再現しながら展示したり、縦6m横8mに及ぶ菅原健彦「雷龍図」を天井に設置したりするなど、来館者がこれら龍図の迫力を体感できるような展示を行い、その魅力をあますところなく紹介していった。

●担当 中田智則(首席学芸員)

●関連事業

開館 20 周年記念美術講演会 「龍に出会って」

日時 11月11日(土) 13:30～

講師 土屋禮一(日本芸術院会員)

開館 20 周年記念コンサート《第2弾》

「五浦に響く、うるわしの四重唱～Time for Healing～」

日時 11月3日(金・祝) 13:00～, 15:00～

出演 ボーカルグループ「ルミナス」

開館 20 周年記念ワークショップ「美術館に龍をとばそう(展示編)」

期日 10月25日(水)～11月26日(日)

開館 20 周年記念日本画実技講座「墨と紙との出会い」

日時 11月4日(土)～5日(日) 10:00～15:00

講師 中野嘉之(多摩美術大学名誉教授)

展覧会担当によるギャラリートーク

日時 10月28日(土), 11月12日(日)

各日共 13:30～

●関連記事

- ・日本画に生きる「竜」55点 開館20周年の県五浦美術館
10月17日【朝日新聞】
- ・「龍を描く」展 茨城県天心記念美術館
10月24日【両毛新聞】
- ・龍の魅力、多彩な表現 日本画の名品一堂に
県五浦美術館 10月25日【茨城新聞】
- ・多彩な「龍」展示 県天心記念五浦美術館
10月28日【茨城新聞】
- ・深遠な龍図の宇宙 体感 県五浦美術館開館 20 年展
中世から現代、多彩な表現 11月12日【茨城新聞】
- ・「龍」の軌跡 名品 55 点 五浦美術館 20 周年企画展
11月15日【読売新聞】

●関連放送

- ・「20秒スポットCM」 10月16日～11月23日
【福島中央テレビ】
- ・「はらぺこキッズ」 10月29日【FMひたち】
- ・「ゴジてれChu!」 11月10日【福島中央テレビ】
- ・「ゴジてれSun!」 11月19日【福島中央テレビ】
- ・「NHK 日曜美術館アートシーン」
11月12日【NHK Eテレ】
- ・「NHK 県域ニュース」 11月17日【NHK水戸放送局】



図録



ポスター B2



チラシ A3(二つ折り)



プレチラシ A4

● 出品作品一覧

No.	制作者 等	作品名	制作年代	材質・技法・形状	大きさ (cm)	所蔵
序章 岡倉天心と龍						
1		善女龍王像	室町時代(15世紀)	絹本・彩色・軸装	196.7×104.5	楽田寺
2	横山大観	双龍争珠	明治38(1905)年	絹本・彩色・軸装	49.3×78.1	横山大観記念館
3	橋本永邦(岡倉天心賛)	八大龍王画	大正元(1912)年	絹本・彩色・軸装	109.0×40.7	平潟小型船組合
4	横山大観米寿祝画集「八十八大龍王巻」 (日本美術院絵画部・彫刻部同人合作)		昭和30(1955)年	卷子(書画50枚貼込)		横山大観記念館
第1章 龍図の展開						
5	狩野派	龍虎図	室町時代(16世紀)	紙本・墨画・屏風六曲一双	各166.7×348.0	大阪市立美術館
6	狩野興以	観音・龍虎図	江戸時代(17世紀)	紙本・墨画・軸装(三幅)	各167.0×93.0	建福寺
7	源琦	双龍図押絵貼屏風	寛政8(1796)年	紙本・淡彩・屏風二曲一隻	各113.1×56.4	京都府(京都文化博物館管理)
8	岸駒	龍虎図	文政7(1824)年頃	絹本・彩色・軸装(双幅)	各120.7×54.6	個人
9	吉村孝敬	雲龍図	文政8(1825)年	絹本・淡彩・軸装	115.0×50.5	京都府(京都文化博物館管理)
10	岡本豊彦(六如賛)	雲龍図	江戸時代(19世紀)	絹本・墨画・軸装	55.8×103.0	個人
11	林十江	昇竜図	江戸時代(19世紀)	紙本・墨画・軸装	123.1×44.6	個人
12	狩野永岳	富士山登龍図	嘉永5(1852)年	絹本・墨画・軸装	179.0×87.0	静岡県立美術館
13	岸竹堂	龍虎図	明治14(1881)年	絹本・墨画・軸装(双幅)	各121.0×189.0	總本山 本隆寺
14	狩野芳崖	龍虎	明治17(1884)年頃	紙本・墨画・軸装(双幅)	各120.0×44.3	東京藝術大学
15	河鍋曉斎	眠龍図	明治4(1871)年以降	紙本・墨画彩色・軸装	136.5×176.3	霊雲寺
16	河鍋曉斎	龍虎図屏風	明治12(1879)年以降	紙本・金地墨画・屏風二曲一隻	151.0×164.4	板橋区立美術館
17	横山大観	或る日の太平洋	昭和27(1952)年	紙本・墨画彩色・軸装	136.7×69.8	横山大観記念館
18	都路華香	白龍図	昭和3(1928)年	紙本・墨画彩色・軸装	85.0×123.0	富山県水墨美術館
19	西郷孤月	登龍	明治37(1904)年頃	絹本・墨画・軸装	122.0×50.5	個人
20	荒井寛方	龍虎図	昭和6(1931)年	紙本・彩色・屏風二曲一双	各166.8×181.2	栃木県立美術館
21	今村紫紅	龍虎	大正2(1913)年	絹本・彩色・軸装(双幅)	右124.8×41.4 左125.0×41.4	埼玉県立近代美術館
22	川端龍子	渦潮	昭和31(1956)年	紙本・彩色・額装	241.0×725.0	大田区立川端龍子記念館
23	堅山南風	富士越之龍	昭和42(1967)年	紙本・墨画淡彩・額装	55.0×67.0	富山県水墨美術館
24	下保昭	象	昭和46(1971)年	紙本・彩色・額装	175.5×176.0	富山県水墨美術館
25	川崎春彦	天駆ける	昭和62(1987)年	紙本・彩色・額装	220.0×160.0	山梨県立美術館
26	村松秀太郎	龍	昭和58(1983)年	紙本・彩色・額装	206.0×266.3	佐久市立近代美術館
27	中野嘉之	双水竜図	平成23(2011)年	紙(竹紙)・墨(明墨・乾隆墨)・額装	200.0×1320.0	作家

No.	制作者 等	作品名	制作年代	材質・技法・形状	大きさ (cm)	所蔵
28	土屋禮一	黒龍	平成 24(2012)年	麻紙・岩絵具, 墨	120.5×199.5	作家
29	岡村桂三郎	龍一降臨 17-01	平成 29(2017)年	板・岩絵具	295.0×480.0×9	作家
30	菅原健彦	雷龍図	平成 21(2009)年	杉板・金箔, 白亜, 墨 雁皮紙・パネル装	597.0×796.0	作家

第2章 龍の物語

31	「元信」印	琴高仙人・柳鷺・芦雁図	室町時代(16世紀)	紙本・墨画・軸装(三幅)	各 98.6×39.5	泉屋博古館
32	吉村孝敬	琴高仙人図	天保 6(1835)年	絹本・墨画淡彩・軸装	127.3×177.5	泉屋博古館
33	小泉斐	龍に馬師皇図	江戸時代(19世紀)	紙本・墨画・屏風六 曲一隻	149.0×339.0	明王寺
34	富岡鉄斎	六六鱗登龍門図	大正 7(1918)年	紙本・墨画・軸装	133.4×58.6	個人
35	鈴木松年	神武天皇・素戔鳴尊図屏風	明治 22(1889)年	絹本・彩色・屏風六 曲一双	各 153.0×359.8	個人
36	小堀鞆音	経政詣竹生島	明治 29(1896)年	絹本・彩色・軸装	181.4×83.5	東京藝術大学
37	小川芋銭	老子(稿本)	昭和 2(1927)年頃	紙本・墨画淡彩・軸装	134.9×48.3	個人
38	小川芋銭	登龍門	昭和 12(1937)年	紙本・墨画淡彩・軸 装	径 60.5	愛知県美術館(木村 定三コレクション)
39	吉川靈華	離騷	大正 15(1926)年	紙本・墨画淡彩・軸 装(双幅)	各 93.6×136.4	東京国立近代美 術館
40	尾竹国観	黄石公張良之図	明治 45(1912)年頃	絹本・墨画淡彩・軸 装(双幅)	各 130.4×50.4	泉屋博古館分館
41	橋本関雪	琴高騎鯉図	大正 14(1925)年	絹本・彩色・軸装	165.0×71.3	華鶴大塚美術館
42	小林古径	竹生島(妙音)	明治 33~40 (1900~07)年頃	絹本・彩色・軸装	143.5×71.5	福井県立美術館

第3章 仏画における龍

43	伝 月壺	白衣観音図	元時代(14世紀)	絹本・墨画・軸装	109.5×47.7	岡山県立美術館
44		如意輪観音図	南北朝時代(14世紀)	絹本・彩色・軸装	111.0×54.8	正光院
45		十六羅漢図	南北朝時代(14世紀)	絹本・彩色・軸装(双幅)	各 93.7×42.4	福井県立美術館
46		羅漢図	室町時代(15世紀)	絹本・彩色・軸装(双幅)	各 103.0×45.3	福井県立美術館
47	狩野友信	羅漢	明治 27(1894)年頃	絹本・彩色・軸装	185.6×83.9	東京藝術大学
48	下村観山	十六羅漢	明治 35(1902)年頃	絹本・彩色・軸装	155.7×85.0	横浜美術館
49	下村観山	弁才天	明治 39~大正元 (1906~12)年頃	絹本・彩色・軸装	137.5×54.0	水野美術館
50	下村観山	四眠	大正 6(1917)年	絹本・彩色・軸装	171.0×85.5	横浜美術館
51	木村武山	弁財天	大正 15(1926)年	絹本・彩色・軸装	181.1×85.0	茨城県近代美術館
52	川端龍子	傲赤不動	昭和 21(1946)年	紙本・彩色・額装	242.0×139.3	大田区立川端龍 子記念館

第4章 寺社建築と龍

53	川合玉堂	徳源寺開山堂天井画 「雲龍図」	大正 7(1918)年頃	紙本・墨画淡彩・軸装	244.5×244.3	徳源寺
54	小泉淳作	建長寺法堂天井画 「雲龍図」小下図	平成 9(1997)年	紙本・墨画・額装	212.0×273.0	横河電機株式会社
55	土屋禮一	瑞龍寺本堂上間之間 障壁画「瑞龍図」	平成 10(1998)年	麻紙・墨画淡彩・床 貼付, 及び襖(8面)	(床部分) 336.9×546.3 (右側面・襖4面) 各 197.0×110.9 (背面・襖2面) 各 197.0×184.2 (左側面・襖2面) 各 197.0×110.9	瑞龍寺

文化庁新進芸術家海外研修制度50周年記念展 —美術部門—「洋画」「日本画」「版画」 アート、現在進行中

●**会期** 平成29年12月2日(土)～平成30年2月4日(日)
●**主催等** 主催：茨城県天心記念五浦美術館，(一般社団法人)文化庁芸術家在外研修員の会美術部門
後援：文化庁，日本芸術院，日本美術家連盟，茨城新聞社，毎日新聞水戸支局，読売新聞水戸支局，朝日新聞水戸総局，産経新聞水戸支局，東京新聞水戸支局，NHK水戸放送局，株式会社茨城放送，北茨城市

協力：(一般社団法人)文化庁芸術家在外研修員の会/損保ジャパン日本興亜

企画協力：アート・ベンチャー・オフィス ショウ

●**ポスター** B2
●**チラシ** A4
●**図録** 縦25×横19cm 95頁
●**開催日数** 53日
●**入場者数** 8,306人
●**観覧料** 一般620(510)円／高大生410(310)円
小中生210(150)円
※()内は20名以上の団体料金

●**出品点数** 全75点(洋画42点 日本画15点 版画18点)

●内容解説

我が国の芸術分野で活躍する将来有望な若手芸術家を海外に派遣し、その芸術家がそれぞれ専門分野について研修する機会を支援する「文化庁新進芸術家海外研修制度(旧：文化庁芸術家在外研修制度)」は、1967年に発足し、今年50周年の節目を迎える。この間、この制度により海外の様々な国で研修された芸術家は、美術部門では約1,300名を数える。海外での貴重な研修体験は、個々の芸術家の滋養と糧となり、その後の活躍の大きな飛躍にもつながっている。そして今日の美術の分野において、海外派遣芸術家は日本

美術界を牽引する作家から、清新な作品を発表し続ける俊英まで、そのめざましい活躍が注目されている。

本展覧会では、これまで研修に参加した研修員の中から、国内外で活躍されている作家の75点(洋画42点、日本画15点、版画18点)を紹介し、同制度の成果を広く紹介する。

なお、出品作品は、本展のために制作した新作であり、今日の多様化する美術表現の魅力を味わうことができる展覧会となる。

●**担当** 村山佐知子(首席学芸主事)

●関連事業

- ・出品作家によるギャラリートーク及びサイン会
日時 12月2日(土)、1月14日(日)、1月21日(日)
1月28日(日) 各日共 13:30～
- ・展覧会担当によるギャラリートーク
日時 12月9日(土) 13:30～
- ・来て・見て・発見!アートツアーfor Kids
日時 1月20日(土) 10:30～
- ・茨城県警察音楽隊ふれあいコンサート
日時 12月10日(日) 11:00～、14:00～
- ・新春寄席 初笑い!五浦寄席
日時 1月3日(水) 11:00～、14:00～
出演 二松亭ちゃん平(社会人落語家)

●関連記事

- ・海外研修制度50周年 企画展 現代美術 潮流たどる
来月2日から五浦美術館 11月27日【朝日新聞】
- ・海外研修制度50周年展
きょうから県五浦美術館 12月2日【茨城新聞】
- ・日本美術の現在、一望 新進芸術家海外研修50年展
実力作家75人を選抜 12月21日【茨城新聞】
- ・文化庁の芸術家海外研修50周年 五浦美術館で記念展
国内外活躍75人の絵画など 1月14日【読売新聞】

●関連放送

- ・「NHK 日曜美術館アートシーン」

10月1日【NHK Eテレ】



図録



ポスター B2



チラシ A4


出品作品一覧

NO	作家名	作品名	制作年	材質・技法・形状	大きさ(縦×横cm)
洋画					
1	奥谷 博	Peace	2017	油彩・キャンバス	130.3×162.1
2	馬越 陽子	人間の大河―太陽を仰ぎ, 月に祈る―	2017	油彩・キャンバス	130.3×162.1
3	白野 文敏	内と外・外と内	2017	アクリル, 砂・キャンバス	63.0×162.0
4	今井 信吾	裸婦座像	2017	ミクストメディア・キャンバス	162.0×130.0
5	絹谷 幸二	旭日富嶽来迎図	2017	ミクストメディア, 金箔手張り	130.0×162.0
6	相笠 昌義	銀座風景	2017	油彩・キャンバス	72.7×116.7
7	齋藤 研	風景	2017	油彩・キャンバス	89.5×145.5
8	伊庭 新太郎	アキアカネ	2017	油彩・パネル	145.5×145.5
9	上條 陽子	穴	2017	アクリル・キャンバス, 板, 紙, 他	162.0×162.0
10	村山 きおえ	夕映えのBéziers.	2016-17	油彩・キャンバス	130.3×162.0
11	市野 英樹	寝椅子の男	2017	油彩・キャンバス	112.0×162.1
12	川口 起美雄	build a canal	2017	油彩, テンペラ・ボード	91.5×162.0
13	田村 能里子	風に還る日	2017	油彩・キャンバス	130.0×162.0
14	遠藤 彰子	明日	2017	油彩・キャンバス	162.0×130.0
15	松永 久	相	2017	油彩, アクリル・キャンバス	145.5×145.5
16	金森 幸司	ライブ「カフェでの時間」	2017	油彩・キャンバス	130.0×162.0
17	北 久美子	風のけしき…U	2017	アクリル, アルキッド・キャンバス	130.3×162.0
18	山田 修市	猿B	2017	油彩, 黒箔・キャンバス	162.0×130.0
19	安達 博文	ドローン	2017	テンペラ, アクリル, 白亜地パネル	130.3×162.0
20	久野 和洋	地の風景・坂の道	2017	油彩・キャンバス	130.3×162.0
21	相田 幸男	平和への起点…ヒロシマ	2017	油彩・キャンバス	162.1×130.3
22	瀬川 富紀男	眠り	2017	油彩・キャンバス	162.0×130.0
23	玉川 信一	黒い光	2017	油彩・キャンバス	162.0×130.3
24	吉岡 正人	部屋を出る	2017	テンペラ, 油彩・石膏地キャンバス	145.0×100.0
25	三浦 明範	OUSIA II	2017	シルバーポイント, 黒鉛, 墨・パネルに白亜, カオリン地	162.0×130.3
26	福島 瑞穂	出口の無い部屋	2017	油彩・キャンバス	162.0×130.3
27	石井 武夫	まつりの街角	2017	油彩・キャンバス, アクリル, 顔料	130.3×162.1
28	滝 純一	沈黙	2017	油彩, テンペラ, 金箔・板	132.0×160.0
29	蛭田 均	ドレスのある室内	2017	油彩・キャンバス	162.0×130.0
30	坂本 佳子	YANGON II-02	2017	油彩, アクリル・キャンバス	130.0×162.0
31	山内 和則	室内	2017	油彩・キャンバス	162.1×130.3
32	石黒 賢一郎	SHAFT TOWER (奔別)	2009-17	油彩・パネル, キャンバス	145.5× 89.4
33	小川 巧	夢みる頃	2017	油彩・キャンバス	130.0×162.0
34	中嶋 明	それでもリンゴの木を植える	2017	テンペラ, 油彩・キャンバス	162.0×130.0
35	金井 訓志	はな	2017	アルキッド絵具・パネルに錦布	122.0×162.0
36	金子 亨	春の暮	2017	油彩・白亜地, パネル	130.0×162.0
37	佐藤 幸代	風景の向こう側	2017	ミクストメディア・パネル, 和紙	124.0×158.0
38	大場 再生	花火のような記憶	2017	油彩・キャンバス	130.3×162.0
39	川村 悦子	黄いろい花	2017	油彩・キャンバス	145.0×145.0
40	呉 亜沙	metabolism	2017	油彩・キャンバス	162.0×130.0
41	小山 利枝子	透明なエロス	2017	アクリル・キャンバス	130.3×162.0
42	奥谷 太一	Woman	2017	油彩・キャンバス	130.0×162.0

NO	作家名	作品名	制作年	材質・技法・形状	大きさ(縦×横cm)
日 本 画					
43	八木 幾朗	分断	2017	岩絵具, 墨, 顔料, 金泥・檜, 板戸	162.1×130.1
44	内田 あぐり	人体-1	2017	顔料, 紙縫, 膠・雲肌麻紙	111.5×146.0
45	西田 俊英	月と孔雀	2017	岩絵具・和紙	112.0×162.0
46	山本 直彰	ASK. SEEK. KNOCK	2017	岩絵具, 箔, アートグレー・薄美濃紙	162.2×130.3
47	浅野 均	月夜の記憶と夢	2017	金箔泥, 墨, 岩彩・楮紙	145.5×112.1
48	宮 いつき	午後の時間	2017	岩絵具・麻紙	162.1×130.3
49	重政 啓治	田文様	2017	日本画絵具, 麻紙	130.3×162.0
50	平山 英樹	あした	2017	岩絵具, 金箔・雲肌麻紙	112.0×162.0
51	依田 万実	Between the Sky and the Earth	2017	岩絵具, 金箔・和紙	130.5×162.0
52	松倉 茂比古	LA VITA 「霧の中で」	2017	岩絵具, 箔・雲肌麻紙	112.1×162.1
53	畠中 光享	結願	2017	岩絵具・綿本	170.0× 91.0
54	伴戸 玲伊子	早春譜	2017	紙本着彩	112.0×162.0
55	神 彌佐子	リアン. ソーダ. ゼリー	2017	墨, 顔料, 箔・麻紙	162.0×130.3
56	神戸 智行	陽のあたる場所	2017	紙本彩色	112.0×162.0
57	町田 久美	丘	2017	青墨, 茶墨, 顔料, 金泥, 金箔, 銀箔, 金属箔, 截金, 鉛筆・高知和紙	65.2× 52.8
版 画					
58	船坂 芳助	My Space and My Dimension. MM269	2017	木版, シルクスクリーン・紙	66.0× 63.0
59	高柳 裕	Leonardo da Vinci-ANATOMY-II	2017	金属凸版, 一版多色刷り技法, ジンク, 他	76.0× 56.0
60	小作 青史	通り過ぎる眠	2017	リトグラフ・ベニヤ板	50.0× 63.0
61	池田 良二	From the Ground-on the margin 地上より一境界	2017	エッチング, アクアチント, メゾチント・ ベランアルシュ紙にRyoji's 雁皮刷り	109.5×195.0
62	若江 漢字	富士讃	2015-16	アクリル絵具・キャンバス	145.5× 89.4
63	多賀 新	天と地と	2017	色鉛筆・ケント紙	96.0× 91.0
64	河内 成幸	宇宙の詩(起・承・転・結) 鳴門の華	2017	木版画, 凸凹摺り, 水性木版画	92.5×183.5
65	木村 秀樹	A Cloud with Steps	2017	アクリル画・キャンバス	162.0×130.0
66	星野 美智子	闇を讃えて一創造の森	2017	ウォーターレス・リトグラフ, 版画洋紙	72.0×100.0
67	柳澤 紀子	Sign・予兆 VII	2016	ミクストメディア, パステル, 鉛筆, 版画, ホチキス, 糸, トレーシングペーパー, 雁皮紙・特厚三桧紙	74.0×109.5
68	山口 啓介	二重性 共存する2つの顔/分断する世界	2017	アクリル, 水彩・板パネル	116.7× 91.0
69	天野 純治	FIELD OF WATER/風の領域 #017025	2017	シルクスクリーン	80.0×110.0
70	筆塚 稔尚	むらぎも25態	2017	有刺鉄線, 着色・手漉き紙(パルプ・楮)	18.5×18.5×25 個
71	木下 恵介	Places-TMG1701	2017	ドローイング, アルシュ紙(3点組)	各76.0×56.0
72	渋谷 和良	通り過ぎる記憶	2017	リトグラフ・シンコレ・アルシュ紙	80.0×125.0
73	濱田 富貴	かたち-72 “網雲”	2017	エッチング, アクアチント, 雁皮刷り・ベランアルシュ紙	150.0×100.0
74	元田 久治	Foresight-Shibuya Center Town	2017	リトグラフ, インク・紙	90.0×126.0
75	入江 明日香	La forêt noire	2017	ミクストメディア・紙	160.0×110.0

秘蔵の木村武山展

- 会期 平成30年2月9日(金)～4月22日(日)
- 主催 茨城県天心記念五浦美術館
- ポスター B2
- チラシ A4
- リーフレット A4 4頁
- 開催日数 73日(平成29年度は54日)
- 入場者数 14,711人(平成29年度)
- 観覧料 一般310(260)円／高大生210(150)円
小中生150(100)円
※()内は20名以上の団体料金
- 出品点数 日本画41点
- 内容解説

五浦の作家の一人木村武山は、明治から大正、昭和戦前期にかけて日本美術院の中心画家として活躍している。初期には歴史画、次いで花鳥画、仏画というように幅広いジャンルに優作を残しながら、岡倉天心のもとで近代にふさわしい新しい表現を追究していった。

武山の歴史画は源平時代に題材を多く求めており、物語の情景描写はもちろん、登場人物の内面まで表現した物語性豊かな作品で知られ、明治30年代から40年代にかけて歴史画興隆の一翼を担った。大正期以降花鳥画を多く手掛けるようになるが、《群鶴(其一)》のような徹底した写生・写実に基づく作品や、《秋草図屏風》に見られるような琳派に倣った装飾的な作品を描いた。華麗で明快な色彩による花鳥画は特に人々に愛され、個人コレクションからなる本展出品作品においてもその中心となっている。

また、近代における仏画の第一人者とされた武山は、《聖観音》のような柔らかで優美な色彩感覚の仏画から、緊張感のある伸びやかな線を生かした紺地金泥による作品まで、平安時代の仏画をはじめ古今の名画に学びながら、個性を盛り込んだ作品も残している。こうした武山による研究の足跡をうかがわせる作品の一つが《不動明王》である。

狩野芳崖《不動明王》(明治20年東京藝術大学蔵)に倣った作品で、武山の仏画研究が明治期を代表する仏画にまで及んでいたことをうかがわせる。さらに、《春暖 古面蘭陵王》は古美術品の写生に基づいており、武山による古美術研究の足跡をうかがわせ興味深い。

本展では、歴史画・仏画など古典研究の成果を物語る作品をはじめ、再興第11回院展に出品され、その後長く行方不明とされてきた《群鶴(其一)》といった武山芸術を代表する作品など、個人所蔵家の優品・佳品をとおして、武山芸術の魅力と幅の広さを紹介した。

- 担当 中田智則(首席学芸員)
- 関連事業

講演会「新発見の木村武山」

日時 3月17日(土) 13:30～

講師 中田智則(首席学芸員)

展覧会担当によるギャラリートーク

日時 2月18日(日)、4月22日(日)

各日共 13:30～

来て・見て・発見!アートツアーfor Kids

日時 2月17日(土) 10:00～

●関連記事

- ・木村武山の大作 94年ぶりに公開 近年確認「群鶴(其一)」
2月4日【朝日新聞】
- ・優雅な花鳥画など41点 日本画家・木村武山の作品展
2月12日【読売新聞】
- ・秘蔵の木村武山展 茨城県天心記念五浦美術館
2月14日【両毛新聞】
- ・ぶんか 本物のような存在感 「群鶴(其一)」
4月6日【読売新聞】
- ・90年ぶり「群鶴」公開 優品41点 秘蔵の武山展
4月8日【茨城新聞】

●関連放送

- ・「はらぺこキッズ」 2月3日【FMひたち】
- ・「NHK 県域ニュース」 4月12日【NHK水戸放送局】



ポスター B2



チラシ A4



鑑賞ガイド A4(4ページ)


出品作品一覧

前期：2月9日(金)～3月18日(日)

後期：3月20日(火)～4月22日(日)

No	作品題名	制作年代	材質・彩色・形状	サイズ(縦×横cm)	展示期間
1	曾我兄弟	明治39～40(1906～07)年頃	絹本・彩色・軸装	120.5×49.7	前・後
2	海景図	明治40～43(1907～10)年頃	絹本・墨画彩色・額装(二曲一隻屏風)	67.6×158.0	前・後
3	夜桜	明治45～大正2(1912～13)年頃	絹本・彩色・軸装	110.8×46.1	後
4	小禽図(右)	明治45～大正2(1912～13)年頃	紙本・墨画・額装(扇面)	16.5×18.5	後
	白花図(左)	明治45～大正4(1912～15)年頃	紙本・彩色・額装(扇面)	16.5×18.5	後
5	出山之釈迦	明治45～大正3(1912～14)年頃	絹本・彩色・軸装	117.3×55.0	後
6	山鳩	明治45～大正4(1912～15)年頃	絹本・彩色・軸装	127.7×50.3	前・後
7	帰雁	明治45～大正4(1912～15)年頃	絹本・彩色・軸装(対幅)	各125.5×42.2	前
8	不動明王	大正4～5(1915～16)年頃	絹本・彩色・軸装	137.7×55.5	前・後
9	秋草図屏風	大正5～6(1916～17)年頃	紙本・金地彩色・六曲一双屏風	各166.5×373.2	前・後
10	雨中の柿	大正9～10(1920～21)年頃	絹本・彩色・軸装	144.9×56.8	前・後
11	涼夜 月に葡萄	大正9～10(1920～21)年頃	絹本・彩色・軸装	131.0×49.5	前・後
12	白雲朝陽富士図	大正9～10(1920～21)年頃	絹本・金地彩色・額装(2面)	各23.2×102.2	前
13	雪中の雉	大正9～10(1920～21)年頃	絹本・彩色・軸装	126.5×50.7	前
14	錦鶏鳥	大正9～10(1920～21)年頃	絹本・彩色・軸装	142.2×56.6	後
15	秋草	大正9～10(1920～21)年頃	絹本・彩色・軸装	138.6×50.4	後
16	白雲朝陽富士	大正10～11(1921～22)年頃	絹本・金地彩色・六曲一双屏風	各171.6×369.0	前・後
17	老松二鷹	大正10～11(1921～22)年頃	絹本・彩色・軸装	142.8×56.6	前・後
18	晚秋月夜 稲穂に鶉の図	大正10～11(1921～22)年頃	絹本・彩色・軸装	133.9×41.1	前
19	白菊	大正10～11(1921～22)年頃	絹本・彩色・軸装	140.6×56.3	後
20	聖観音	大正12～14(1923～25)年頃	絹本・彩色・軸装	130.8×50.2	前・後
21	七夕 七月	大正12～14(1923～25)年頃	絹本・彩色・軸装	121.6×27.4	前・後
22	菊 九月	大正12～14(1923～25)年頃	絹本・彩色・軸装	120.9×27.3	前・後
23	群鶴(其一)	大正13(1924)年	絹本・彩色・六曲一双屏風	各173.6×372.6	前・後
24	秋草	大正15～昭和6(1926～31)年頃	絹本・彩色・軸装	130.9×42.2	前
25	双鶏	大正15～昭和6(1926～31)年頃	絹本・彩色・軸装	125.0×40.7	後
26	月に秋草	大正15～昭和6(1926～31)年頃	絹本・彩色・軸装	129.5×41.7	後
27	春暖 古面蘭陵王	昭和7～10(1932～35)年頃	紙本・彩色・軸装	43.3×89.4	前・後
28	雀	昭和7～10(1932～35)年頃	絹本・墨画彩色・軸装	122.0×27.6	前
29	弘法大師	昭和7～10(1932～35)年頃	絹本・彩色・軸装	106.6×41.1	前
30	海老	昭和7～10(1932～35)年頃	紙本・墨画金泥・軸装	129.3×29.9	前
31	飛鶴	昭和7～10(1932～35)年頃	絹本・金地彩色・二曲一隻屏風	178.7×171.2	前
32	旭日双鶏	昭和7～10(1932～35)年頃	絹本・彩色・軸装	130.6×50.8	前
33	富士図	昭和7～10(1932～35)年頃	紙本・彩色・額装	37.0×89.8	後
34	不動明王	昭和10～12(1935～37)年頃	絹本・紺地金泥・額装	127.2×43.5	前
35	勢至菩薩	昭和10～12(1935～37)年頃	絹本・紺地金泥・軸装	124.3×48.6	前
36	八幡大菩薩	昭和10～12(1935～37)年頃	絹本・彩色・軸装	116.9×41.8	後
37	聖観世音菩薩	昭和10～12(1935～37)年頃	絹本・紺地金泥・軸装	117.5×41.1	後
38	神武天皇御尊影	昭和11(1936)年	絹本・彩色・軸装	121.2×42.0	前・後
39	海老	昭和13～15(1938～40)年頃	紙本・墨画金泥・軸装	119.7×32.6	後
40	うなぎ登	昭和15～17(1940～42)年頃	絹本・墨画・軸装	110.0×26.1	後
41	大日如来・天人	昭和15～17(1940～42)年頃	紙本・彩色・額装	105.1×143.1	後

※作品はすべて個人所蔵です。

2 岡倉天心記念室

●概要 多方面にわたる岡倉天心の生涯や業績を書簡や遺品など貴重な資料によって紹介するほか、天心の指導を受けて近代日本美術の発展に大きく貢献した五浦の作家たちの作品を紹介した。

(1) 五浦の作家たちの作品展示

茨城県近代美術館等が所蔵する横山大観、下村観山、菱田春草、木村武山ら五浦の作家たちの作品を選び、年6回の展示を行った。

●会期及び出品目録

No.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・技法・形状	寸法(縦×横)cm	備考
■第1回 平成29年4月21日(金)～6月11日(日)							
1	横山 大観	1868-1958	水國の夜	明治44年頃	絹本・彩色・軸装	157.0×86.0	
2	横山 大観	1868-1958	月明	昭和6年頃	絹本・彩色・軸装	136.6×41.7	
3	横山 大観	1968-1958	月満山	昭和12年	紙本・彩色・軸装	65.4×99.3	
4	菱田 春草	1874-1911	春の漁	明治42年	絹本・淡彩・軸装	122.8×51.0	寄託
5	木村 武山	1876-1942	五浦の朝	明治39～40年	絹本・彩色・軸装	46.7×51.6	
■第2回 平成29年6月13日(火)～8月18日(金)							
1	横山 大観	1868-1958	朝顔日記	明治33年頃	絹本・彩色・軸装	123.0×50.0	
2	横山 大観	1868-1958	樹下美人	明治45年頃	絹本・彩色・軸装	123.0×51.0	
3	菱田 春草	1874-1911	菊慈童	明治34年	絹本・彩色・軸装	120.0×49.8	
4	下村 観山	1873-1930	納涼図	明治42年頃	絹本・彩色・軸装	84.0×50.0	
5	木村 武山	1876-1942	日本武尊	明治40年頃	絹本・彩色・軸装	127.2×41.5	寄託
■第3回 平成29年8月19日(土)～10月15日(日)							
1	横山 大観	1868-1958	隠棲	明治35年	絹本・彩色・軸装	120.0×49.0	
2	菱田 春草	1874-1911	砧	明治38年頃	絹本・彩色・軸装	49.4×83.5	
3	下村 観山	1873-1930	高士観瀑	大正8年	絹本・彩色・軸装 (対幅)	各142.2×55.3	
4	木村 武山	1876-1942	小楠公	明治36年頃	紙本・彩色・軸装	140.3×64.8	
5	木村 武山	1876-1942	菅公太宰府配處之図	明治末期	絹本・彩色・軸装	111.0×41.0	
■第4回 平成29年10月17日(火)～12月15日(金)							
1	横山 大観	1868-1958	飛泉	明治35年	絹本・彩色・軸装	125.3×41.2	2と対幅
2	菱田 春草	1874-1911	秋溪	明治35年	絹本・彩色・軸装	125.3×41.3	1と対幅
3	菱田 春草	1874-1911	猫に鳥	明治43年	紙本・金地彩色・屏風 (二曲一双)	各162.0×162.0	
4	木村 武山	1873-1930	黒猫	大正7年頃	絹本・墨画・軸装	127.2×41.5	
■第5回 平成29年12月16日(土)～平成30年2月18日(日)							
1	横山 大観	1868-1958	岩礁の鶴	明治37年	絹本・彩色・額装	79.7×48.9	寄託
2	横山 大観	1868-1958	雪影	明治37-38年	絹本・彩色・額装	77.1×53.8	寄託
3	横山 大観	1868-1958	松月雪景	明治37～38年	絹本・彩色・額装	49.9×87.6	寄託
4	菱田 春草	1874-1911	帰漁	明治37年	絹本・墨画・額装	49.4×73.3	
5	下村 観山	1873-1930	帰獵の図	明治37～38年	絹本・彩色・額装	87.5×50.0	寄託
■第6回 平成30年2月20日(火)～4月22日(日)							
1	横山 大観	1868-1958	秋の夕	明治35年	絹本・彩色・軸装	121.7×50.5	3と対幅
2	菱田 春草	1874-1911	柴舟	明治33年	絹本・彩色・軸装	116.0×50.0	
3	菱田 春草	1874-1911	春の朝	明治35年	絹本・彩色・軸装	122.0×50.8	1と対幅
4	下村 観山	1873-1930	日の出/雪梅	明治41年頃	絹本・彩色・軸装 (対幅)	各108.5×41.0	
5	木村 武山	1876-1942	貴紳観桜図	明治33～34年頃	絹本・彩色・軸装	120.0×50.0	

(2) 資料テーマ展示

天心及び五浦に関わりのあるテーマに関して調査・研究した内容を、収蔵資料や解説パネルにより紹介した。

- テーマ名** 仏像を守り抜いた男 新納忠之介 ～新納忠之介と天心～
- 会 期** 平成29年6月1日(木)～11月30日(土)
- 内容解説** 新納忠之助は岡倉天心の指導下で、文化財保護を目的に明治30年代から仏像・神像の修復を行った人物として知られる。近代的な文化財の修復方法が未確立の中、現状維持を基本とする修復理念とその手法を開拓し、日本美術院の国宝修理部門である日本美術院第二部（現・公益財団法人美術院）を牽引していった。テーマ展示では、新納の旧蔵品を数回に分けて展示し、文化財保護の礎を築いた新納の業績を紹介した。第2回目となる本展示では、新納と天心との交流を紹介した。（第1回目は平成28年度実施）
- 展示資料**
 - ・岡倉天心「書簡・新納忠之介宛」明治41年8月5日
 - ・黒板子「葉書・新納忠之介宛」明治41年7月23日消印
 - ・安田鞞彦「葉書・新納忠之介宛」明治41年7月23日
- 担 当** 塩田稔雄(学芸員)

- テーマ名** 仏像を守り抜いた男 新納忠之介 ～新納の国際的な活動～
- 会 期** 平成29年12月1日(金)～平成30年6月17日(日)
- 内容解説** 第3回目となる本展示では、新納の海外での活動を伝える2点の資料を展示した。新納は明治42～43年にかけて、アメリカ・ヨーロッパに滞在している。一つ目の資料は、五浦の天心からボストン美術館で仏像修復を行う新納に宛てた書簡で、43年に開催が予定されている日英博覧会とヨーロッパの視察ができるよう、各方面に交渉している様子うかがえる。二つ目は、新納の明治43年の日記であり、ヨーロッパでの詳しい旅程や、現地で西洋彫刻をスケッチしたものなどが記録されている。
- 展示資料**
 - ・岡倉天心「書簡・新納忠之介宛」明治42年9月29日
 - ・新納忠之介「欧州での記録等」明治43年
- 担 当** 塩田稔雄(学芸員)